



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,898	△0.9	427	△2.6	288	△25.5	349	62.3
26年3月期第3四半期	13,011	9.9	439	—	387	—	215	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 356百万円 (66.9%) 26年3月期第3四半期 213百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.34	—
26年3月期第3四半期	10.06	9.89

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,455	5,747	39.8
26年3月期	15,262	5,393	35.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,747百万円 26年3月期 5,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,360	△0.6	820	16.0	620	△2.2	480	40.4	22.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	21,504,347 株	26年3月期	21,504,347 株
27年3月期3Q	113,637 株	26年3月期	112,937 株
27年3月期3Q	21,390,975 株	26年3月期3Q	21,392,608 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により企業収益の向上や雇用環境の改善傾向が見られ、緩やかな景気回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの回復の鈍さが長期化しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、円安等による原材料価格の上昇及び人手不足を背景とした人件費関連コストの上昇等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの充実に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高128億98百万円（対前年同期比0.9%減）、営業利益4億27百万円（対前年同期比2.6%減）、経常利益2億88百万円（対前年同期比25.5%減）、四半期純利益3億49百万円（対前年同期比62.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は198店舗であります。内訳は直営158店舗、暖簾6店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「GWハッピー大皿セットフェア」、「ヘルシー！オージービーフェア」、「生ビール&焼肉スクラッチフェア」、「冬の紅白石鍋合戦」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや冬季限定「ホット生チョコデザート」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は110億4百万円（対前年同期比0.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は6億94百万円（対前年同期比3.3%減）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「牛・羊・豚・鶏を賑やかに食す！牧場焼肉フェア」、「ご好評にお応えて堂々復活！牛一頭食べつくし祭」、「夏の行楽にぎわいセット」、「冬のあつあつうまいもの祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや「秋色スイーツ！和風デザート」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は15億79百万円（対前年同期比6.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億72百万円（対前年同期比38.3%増）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は11店舗であります。内訳は直営4店舗、暖簾1店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億14百万円（対前年同期比30.3%減）となり、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同期はセグメント損失19百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ8億6百万円減少し、144億55百万円となりました。これは主に、借入金の返済等により現金及び預金が減少したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ11億60百万円減少し、87億8百万円となりました。これは主に、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加し、57億47百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が5,613千円減少し、利益剰余金が3,648千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,939,608	1,854,120
受取手形及び売掛金	338,957	331,878
商品及び製品	125,746	204,695
仕掛品	636	1,394
原材料及び貯蔵品	333,450	607,212
前払費用	211,335	203,000
繰延税金資産	75,643	46,195
その他	110,183	81,146
流動資産合計	4,135,563	3,329,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,234,469	2,245,756
機械装置及び運搬具(純額)	43,314	46,001
工具、器具及び備品(純額)	172,699	173,822
土地	5,627,685	5,567,037
リース資産(純額)	21,310	166,014
有形固定資産合計	8,099,479	8,198,632
無形固定資産	105,238	107,616
投資その他の資産		
投資有価証券	72,438	93,041
長期貸付金	855,012	833,629
長期前払費用	28,259	21,284
繰延税金資産	79,492	69,950
敷金及び保証金	2,569,302	2,495,166
その他	53,420	41,934
貸倒引当金	△735,974	△735,462
投資その他の資産合計	2,921,951	2,819,546
固定資産合計	11,126,670	11,125,795
資産合計	15,262,233	14,455,440

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,524	769,122
短期借入金	6,801,644	684,998
リース債務	11,553	47,521
割賦未払金	23,318	70,221
未払金	257,625	228,318
設備関係未払金	80,595	57,704
未払費用	509,233	502,592
未払法人税等	187,167	164,223
未払消費税等	84,408	152,641
賞与引当金	83,440	52,300
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	545,794	468,239
流動負債合計	9,137,522	3,201,101
固定負債		
長期借入金	7,172	4,533,750
リース債務	19,721	138,336
長期割賦未払金	63,852	193,921
繰延税金負債	118,197	118,168
役員退職慰労引当金	284,093	295,092
転貸損失引当金	24,932	22,519
退職給付に係る負債	138,758	130,854
その他	74,534	74,534
固定負債合計	731,261	5,507,178
負債合計	9,868,784	8,708,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△260,603	92,517
自己株式	△67,871	△68,154
株主資本合計	5,391,171	5,744,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,762	3,151
その他の包括利益累計額合計	△3,762	3,151
新株予約権	6,040	—
純資産合計	5,393,448	5,747,161
負債純資産合計	15,262,233	14,455,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,011,569	12,898,260
売上原価	4,692,057	4,608,552
売上総利益	8,319,511	8,289,707
販売費及び一般管理費	7,880,377	7,861,774
営業利益	439,134	427,933
営業外収益		
受取利息	24,501	23,483
受取配当金	1,695	1,784
受取地代家賃	8,165	7,817
貸倒引当金戻入額	511	512
その他	32,665	33,373
営業外収益合計	67,538	66,970
営業外費用		
支払利息	109,097	94,417
支払手数料	—	100,000
その他	10,067	11,951
営業外費用合計	119,165	206,368
経常利益	387,508	288,535
特別利益		
固定資産売却益	—	15,026
投資有価証券売却益	0	1
受取保険金	—	3,924
債務免除益	—	361,663
特別利益合計	0	380,616
特別損失		
固定資産売却損	—	2,593
固定資産除却損	1,756	4,251
減損損失	10,264	21,858
賃貸借契約解約損	30,074	8,514
特別損失合計	42,095	37,217
税金等調整前四半期純利益	345,412	631,934
法人税、住民税及び事業税	103,559	249,188
法人税等調整額	26,581	33,273
法人税等合計	130,140	282,461
少数株主損益調整前四半期純利益	215,271	349,472
四半期純利益	215,271	349,472



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	215,271	349,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,679	6,914
その他の包括利益合計	△1,679	6,914
四半期包括利益	213,592	356,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,592	356,387

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,083,222	1,477,607	450,740	13,011,569	13,011,569	—	13,011,569
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,083,222	1,477,607	450,740	13,011,569	13,011,569	—	13,011,569
セグメント利益又は 損失(△)	717,806	124,985	△19,508	823,284	823,284	△384,149	439,134

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては10,264千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,004,378	1,579,731	314,150	12,898,260	12,898,260	—	12,898,260
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,004,378	1,579,731	314,150	12,898,260	12,898,260	—	12,898,260
セグメント利益又は 損失(△)	694,242	172,813	△7,423	859,631	859,631	△431,698	427,933

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては21,858千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。